

【とっとり大学発・産学連携ファンド】 「株式会社エボルブ・バイオセラピューティクス」に対する投資決定について

株式会社地域経済活性化支援機構のファンド運営子会社であるREVICキャピタル株式会社（以下「REVICキャピタル」という。）が、2015年1月1日付で株式会社山陰合同銀行、ごうぎんキャピタル株式会社と共同で設立した「とっとり大学発・産学連携投資事業有限責任組合（以下「本ファンド」という。）」は、株式会社エボルブ・バイオセラピューティクス（以下「対象会社」という。）に対し、2019年3月22日付で投資決定するとともに、REVICキャピタルから対象会社に対して取締役を派遣する予定ですので、お知らせいたします。なお、本件は、本ファンドの第4号案件となります。

対象会社は、鳥取大学医学部の中村貴史准教授の特殊なウィルス作製技術により開発される研究試薬・医薬の研究開発及び製造販売を目的として設立された鳥取大学発のバイオベンチャーです。中村准教授が開発する腫瘍溶解性ウィルスは、がん治療に関する医学部分野の先端研究を進展させる研究ツールとしてだけでなく、がん細胞だけを溶解・破壊してがんに対する全身の免疫力を高める治療薬への展開が期待できる革新性の高いプラットフォーム（基盤）技術となります。

本ファンドは、2014年12月11日付で鳥取大学と締結した「大学発ベンチャー等支援に関する協力協定書」に基づき、鳥取大学と産学連携の活動をより積極的に推進しながら、地域に活力をもたらす新しいビジネスに挑戦する革新的なベンチャーの発掘・育成、ならびに地域における新しい産業の創造に向けて、今後も全力を挙げて取り組んでまいります。

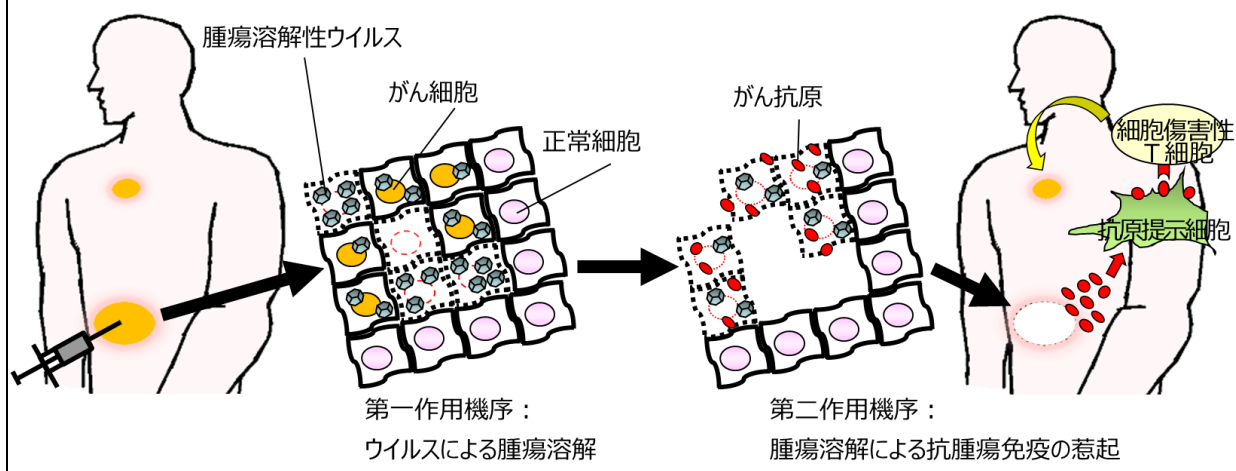
投資先の概要は以下のとおりです。

企業名	株式会社エボルブ・バイオセラピューティクス
代表取締役	中村 貴史（鳥取大学医学部准教授）
本社所在地	鳥取県米子市（鳥取大学医学部内）
事業内容	鳥取大学医学部の中村貴史准教授の特殊なウィルス作製技術を活用した研究試薬・医薬の研究開発及び製造販売

【とっとり大学発・産学連携ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/23.html> 機構ホームページをご参照ください。

✓がんウイルス療法とは ～がん細胞特異的にウイルスが増殖し、がん細胞のみを破壊する革新的ながん治療法～



以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表：TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部：TEL 03-6266-0590